

第3回県立大学の設置の是非を検討するための有識者会議 論点

論点① 県立大学の必要性について。

これまでの有識者会議では、大学進学者収容力の水準や高校生等への「学びの需要調査」の結果等から、県立大学設置のニーズは一定あると確認された。また、都市圏への若者の偏在や経済的負担等の点から、必要性を論じられた。

第1回、第2回の会議での議論等をふまえて、県立大学の必要性について、どう考えるか。

論点② 県立大学の有効性について。

これまでの会議では、県内への人材供給や地域課題解決、シンクタンク機能への期待が述べられた。また、県内高等教育機関・地域等への波及効果があれば意義があるとの意見があった。

第1回、第2回の会議での議論等をふまえて、県立大学の有効性について、どう考えるか。

論点③ 県立大学のあるべき姿について。

第1回会議では、大学を設置するかどうかではなく、どういう大学なら新設する価値があるのか、具体的にあげていき、最終的にどういう大学なら設置すべきなのかを決めていくべきであると提案があった。

これまでの会議では、学生・地域のための大学、地元企業等との連携などを求める意見が多数あった。

第1回、第2回の有識者会議での議論等をふまえて、県立大学のあるべき姿について、どう考えるか。また、地域枠の設定を考えた場合、どの程度が適切であるか。